

みんなの縁を結び、感謝と恩を贈り合う多摩ニュータウンを創る「未知プラットフォーム」

応募チーム名：多摩市若者会議 自治体：東京都多摩市

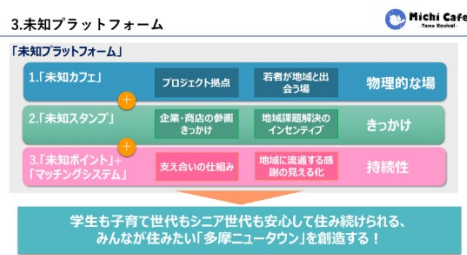
（特徴）多摩ニュータウン地域の高齢化に伴う課題の解決を目的に、「未知プラットフォーム」と名付けた仕組み・仕掛け群をつくり、課題の解決を目指そうとしている。具体的には（１）クラウドファンディングで作り上げた拠点施設「未知カフェ」（この４月５日オープン）を活用して、既存コミュニティの枠組みの中から生まれにくかった有機的な地域課題解決アイデアや地域を盛り上げる企画を立案・実施する、

②学生と地元立地企業・周辺企業との協働やマッチングの場を設け、卒業後も地域で活躍する人材を増やす、③この場に集う企業・学生がコラボレーションし、

増やす、③この場に集う企業・学生がコラボレーションし、

（２）「未知スタンプ」カードの発行による多摩市若者会議などが行う地域のイベントへの参加動機の醸成と、

（３）将来は、困りごとマッチングシステムによる共助の仕組み化と感謝ポイントの授受による地域内経済活動の活



性化を通じた「誰一人取り残さない」地域づくりを目指すとしている。

（アドバイス）

1. 4月にオープンした「未知カフェ」への期待

多摩市若者会議は、まずこの4月にオープンした「未知カフェ」の成否にかかっているといえましょう。「未知カフェ」の運営にあたって、その中心となる39歳以下の若者で、リーダー層となる地域住民と学生の適切な組み合わせによるマネジメントの円滑な実施を望んでいます。収支という経営感覚も欠かせません。社会人にとっては組織以外での社会貢献の場、学生にとってはその学びの場です。

2. 「未知カフェ」の出会いの場としての評価の確立とCOG多摩版実施や高齢者の参加機会

「未知カフェ」では、人材の需要と供給とのマッチングの場として、地域のベンチャー企業と学生の出会い、高齢者の能力活用の発掘など、いろいろ考えられますが、「未知カフェ」に行けば新しい出会いがあるという場の評判が立つことが重要です。このため、例えば、月一回はこれを意識したイベントを定期的で開催するといったことも考えられます。さらに、「未知カフェ」を活用したCOG多摩版を実施して、地域の課題を住民や学生自身が解決していく場としての活用も有用と考えます。また、多摩市若者会議への高齢者の参加を「未知カフェ」を通じて図っていかれることもこれからは有効かと思えます。

3. 「未知スタンプ」活用への学生の積極的参加を期待

「未知スタンプ」については、学生の積極的参加に期待しています。これを通じて、多摩近隣の多くの学生が多摩地域を知り、困りごとマッチングシステムによって例えばEVのない5階建ての多摩ニュータウンの団地に住む高齢者の買い物などの支援活動を始めるなどの具体的な企画が生まれることを期待します。その際、学生の現実的な参加目標を立ててみるのも良いかと思えます。

4. 市役所への期待

多摩市若者会議の発足の契機を作られた多摩市には、引き続き多摩市若者会議への地域のつながりなどのサポートを期待しています。さらに上記のCOG多摩版の自治体側プラットフォームとして機能して欲しいと思えます。